

5. 既存住宅における床下換気システムの効果 異常状況での対策例(1)

■問題及び調査/原因解析

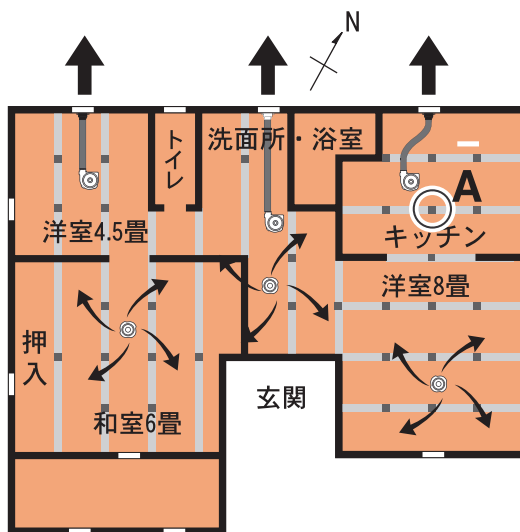
既存住宅(福岡県太宰府市長浦台立地・築28年)で床下換気システムの効果実験を行った際、床下換気システムを設置しましたが、含水率が下がらない束柱が何カ所もありました。

いろいろ調査した結果、コンクリート束石が水を吸い上げ、束柱を湿らせている事が解明しました。

■対策/効果

問題の束柱と束石の間にゴムシートを敷き、水が上がらないよう防水をする。その後は順調に含水率が低下しています。途中で換気扇を停止すると平行線をたどり、再度換気システムを作動させるとさらに含水率が低下していくのが分かります。

- 原因の水を吸い上げている束石
- ゴムシートを敷いて防水処理



- 排気：タービン・ブLOWER/3台
- 攪拌：タービン・ウインド/2台
- ：タービン・ウインドアルファー/1台

含水率 [%]

束柱Aの含水率推移グラフ 2003年7月24日～10月24日

